

災害時こそ強い絆で

西郷村と災害時における相互応援に関する協定を締結

10月28日、町は福島県西郷村と「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。この協定は、町と西郷村に地震、水害、火災等の大規模災害が発生し、被災者救護等の応援措置の実施に困難が生じている場合における相互の物資提供、避難者の一時受け入れ、職員の派遣等の応援をするものです。



那須町管内で死亡事故が発生!!

10月6日午後3時45分頃、那須町大字豊原甲地内で、トラクターが畑に転落する事故が発生しました。この事故で、トラクターを運転していた53歳の男性が亡くなりました。

このような痛ましい事故を起こさないためにも、トラクター等の農機を運転する方は、次の点に注意して安全運転をお願いします。

① 確実な運転操作とブレーキ連結の確認

農機による死亡事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が多いため、道路状況に合った確実な運転を行いましょ。道路走行時は必ず左右のブレーキを

連結しましょう。

農作業前後に道路上を走行する際は、ブレーキ連結をしていないと、ブレーキを踏んだときに、急旋回して転落、横転する事故につながる恐れがあります。

② 安全キャブ・フレームの装着とシートベルトの着用

救命効果の高い安全キャブやフレームがついているトラクターを利用しましょう。トラクター等の農機運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。

③ ランプ類や低速車マーク等の取り付け

一般車両との接触や追突を防ぐためには周囲に気付いてもらうことが大切です。「低速車マーク」や「反射材」を取り付けましょう。

☎ 6902

防災のワンポイント

▼ 災害発生時に安全に避難するための心得

○ 人混みでパニックにならないために、周りの人に配慮した行動を心がけましょう。

○ 地下では壁伝いに歩いて避難しましょう。

○ 火災が発生している場合は、ハンカチなどで口と鼻をおおい、

できるだけ低い姿勢で煙を吸わないように避難しましょう。

○ 切れたり、垂れ下がっている電線には、近づいたり触ったりしないよう注意しましょう。

○ 夜間は、懐中電灯等を使用し、目視確認を行いながら避難しましょう。

○ 冬季に避難する場合、防寒対策をしっかり行い避難しましょう。避難先でストーブ等を使用する場合は、火災にも注意しましょう。

締結式では、平山町長が「町は、平成10年の那須水害や、平成23年に発生した東日本大震災、昨年の東日本台風(台風19号)など、これまでいくつもの大きな災害に遭いました。災害への迅速な対応には、一つの自治体だけでは、難しい業務もあり、コロナ禍での避難所の開設などでは、多くの人員が必要で、この協定は、今後のコロナ感染症対策も含めた新たな防災対策においても重要なもの」とあいさつしました。

また、高橋廣志村長(写真右)は「近年、毎年のように発生する自然災害は多様化・広域化しており、あらゆるケースを想定して対策を行う必要があります。この協定による那須町との間での協体制の強化は、今後の災害対策を実施する上で大変意義のあるものです」と応えました。

▼ 協定内容 大規模災害が発生した場合の相互応援事項

- 被災者救護等の応急措置の実施に困難が生じている場合における相互の物資提供
- 避難者の一時受け入れ並びにそれに伴う施設の提供
- 本協定に基づき実施する応援に必要な職員の派遣

▼ 問合せ 総務課防災交通係 ☎ 6902